日刊 動労千葉
80.4.3
NO. 393
国鉄千葉動力車労働組
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二二五八―九・（公衆）〇四三（22）七二〇七

8%低額打破！大巾賃上げ獲得 ストライキで闘おう

80春闘勝利へ県労働者総決起集会開催

三月二十九日、千葉市本町公園において「大巾賃上げ獲得、物価値上げ反対、生活防衛、八〇国民春闘勝利をめざす千葉県労働者総決起集会」が開催され、県下各労組より約千名が結集し、県下の共闘体制をうち固めた。動労千葉からは、各支部の動員者七十名で参加し「三里塚―反合春闘」「八%低額打破―大巾賃上げ」をかかげて最後まで闘い抜いた。

県下労働者の共闘で 80春闘の高揚きりひらこう！

方区―赤桐操氏が挨拶にたった。続いて基調報告、県私鉄、公労協、公務員共闘の順で各決意表明が行われ、集会宣言を全参加者の拍手で確認し、国鉄千葉駅までのデモ行進をもって、県下の春闘共闘体制のスタートを切った。

と入った。

さらに八〇春闘四月決戦にむけ、支部・組合員一体となった総力決起の体制をつくり出してゆこう！

「三里塚―反合」「大巾賃上げ」で80春闘の活性化を！

動労千葉は、独自の生活実態調査要求アンケートをもって、今春闘の新賃金要求を決定し、三月十七日当局申し入れを行い、現在、交渉強化をはかりつつ、闘いを継続している。

三・二九春闘集会にひきつづく、三・三〇三里塚への圧倒的結集と高揚をもって、「三里塚―反合春闘」の闘争体制もいよいよ本格的な段階へと入った。

さらに八〇春闘四月決戦にむけ、支部・組合員一体となった総力決起の体制をつくり出してゆこう！

要求を満額獲得しよう」と決意をのべた。

来賓として、県社会党副委員長・市川福平氏、参院選地公労協、公務員共闘の順で各決意表明が行われ、集会宣言を全参加者の拍手で確認し、国鉄千葉駅までのデモ行進をもって、県下の春闘共闘体制のスタートを切った。

公労協、民間、公労協より議公務員等の各組合旗が林立する中で、集会は、一時半過ぎ、成毛県労連副議長（全逓）の司会で始められた。

公労協、民間各労組より議長団を選出し、冒頭主催者代表として挨拶にたった、井原県春闘共闘会議議長は、「きびしい情勢をのりこえて、団結力で八〇春闘決戦をきりひらいてゆこう。今日、京成の合理化攻撃のように、経営破産を労働者に転嫁する合理化の攻撃を許さず総決起しよう。

千葉県労農会議第4回定期総会開催される

高木春執行委員が常任幹事に

三月二十六日、千葉県農業会館において千葉県労農会議第四回定期総会が開催された。

今日、石油などのエネルギー源と並んで、食糧をめぐる世界的規模の争奪戦が激化している中で、政府自民党、独占は、農地法改悪をはじめとする農民殺しの施策をつぎつぎと押し進めてきている。

労農共闘で三里塚闘争の強化等を確認！

「農地死守」を旗印に農業破壊を許さず、真の農民魂をもって闘い抜いている三里塚闘争こそは、軍事大国化攻撃をうちくだく反戦闘争の軸であると共に、まさに、こうした農業破壊・農民殺しの攻撃を、突破する最頂点の闘いである。

活動方針提起と討論の中で、今日進められてきているさまざまな農業破壊を許さず、地域活動の強化、労働者との連帯・強化、とりわけ、三里塚空港建設強行による農業、農民生活破壊を許さず、闘うことなどが確認決定された。このあと行われた役員改選では動労千葉から高橋執行委員が、常任幹事として選出され、県下の「労農連帯」「三里塚闘争体制」等の一層の強化にむけて体制整備がなされ、総会は成功裡に終了した。